

「兵庫ワイルドライフレポート」刊行・投稿規程

(2010年10月制定、2012年6月改定)

I 刊行規程

1. 兵庫県森林動物研究センターでは、「兵庫ワイルドライフレポート」(以下、レポート)において、独立したテーマで完結した論文等を、兵庫県森林動物研究センターウェブサイト(以下、ウェブサイト)において随時公表する。
2. 「レポート」には、野生動物の保全と管理に関わる業務をおこなっている行政担当者や実務者、技術者、研究者などを読者と想定して、センターの編集委員会の責任の下、野生動物の保全と管理の実務に有益な知見を提供する原著論文及び総説と、資料(以下、論文等)を掲載する
4. 投稿規程は、別に定める。
5. 掲載する論文等は原則、和文とするが、編集委員会の判断より、必要に応じて英文の抄訳または完訳を掲載する。ウェブサイトでの公表は、PDFファイルで行なう。

II 投稿規程

1. 投稿案内

原稿は「投稿規程」に沿って執筆すること。規程に従わない原稿は受け付けない。

1) 内容

「レポート」の原稿は、冒頭に記した趣旨に沿ったもので、科学的かつ検証可能な根拠のある未発表の知見を含む原著論文、総説及び資料とする。なお、原稿の区分は以下のとおりとする。

原著論文： 「レポート」の目的に沿った新しい知見や技術を含む研究の成果。

総説： 「レポート」の目的に沿ったテーマについて、既往の研究成果や技術、社会制度等を整理し、分析や考察を加えたもの。

資料： 兵庫県及び近隣府県の野生動物の現状に関するデータや、既存の技術に関する付加情報、社会的な制度や状況の紹介など。

2) 投稿資格

投稿者の資格は問わない。

3) 査読制度

編集委員会は、すべての投稿原稿を査読に付し、「レポート」としての公表の是非を判断する。

4) 投稿の手続き

原稿の本文及び図、表、写真等（以下、図表等）の説明は、原則として（MSword か rtf、pdf など一般的なファイルに指定しておいたら？）ワードプロセッサを使用して作成し、図表等のコピーとともに提出すること。図表等のオリジナルの提出は、受理後とする。なお、投稿原稿は、本文、図表等及び図表等の説明を、それぞれPDF ファイルに変換し、電子メールの添付ファイルとして投稿することも可能である。その場合、各添付ファイルは、1 MB 以下にすること。

投稿原稿の形式については、以下の「2. 投稿原稿の形式」を参照すること。

5) 原稿の受理

編集委員会により掲載可と判断された日付をもって受理日とし、受理通知を送付する。

6) 印刷原稿の提出

受理後の原稿及び図表等の提出については、受理通知時に編集委員会が指定する様式に従うものとする。（ここも MSword か rtf、pdf など一般的なファイルに指定しておいたら？）

7) 校正

著者による校正は初校のみとする。

8) 著作権の帰属

本誌に掲載される論文等の著作権は、兵庫県森林動物研究センターに帰属する。著者本人を除き、兵庫県森林動物研究センターの許可なくして複製することはできない。

9) 原稿の送付先および問い合わせ先

〒 669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940

兵庫県森林動物研究センター内

「兵庫 ワイルドライフレポート・モノグラフ」編集委員会

（レポート編集担当 藤木大介）

電話 (0795) 80-5500 Fax (0795)80-5506

E-mail fujiki@wmi-hyogo.jp

2. 投稿原稿の形式

1) 全体の構成

原稿には、ページ番号を記入する。本文に対する注は通し番号をつけて本文の最後にまとめ、脚注は使用しないこと。原稿の体裁は以下の(1)～(5)の順とする。

(1) 表題：

原稿の最初のページに、表題、原稿の種別、著者名、所属、住所、e-mail アドレス、及び簡略表題（ランニング・タイトル：25 字以内）を記入する。

(2) 要点

原稿の第 2 ページに、論文の目的と成果および貢献の内容を明確に示す要点を箇条書きで記入する（400 字～600 字）。

(3) キーワード

表題に含まれない内容を適切に表す語句 5 つ以内で簡潔に記す。

(4) 本文

本文は第 3 ページから書きはじめる。

(5) 謝辞

謝辞の位置は本文末と文献の間とし、研究助成金等の記述については謝辞の最後に記載する。

(6) 引用文献

本文中の引用文献は、著者姓（西暦年号）で示し、引用文献は著者姓の ABC 順に稿末に一括記載する。

2) 文章の書き方

(1) 対象読者である、野生動物の保全と管理に関わる業務をおこなっている行政担当者、研究者、民間の技術者などに、わかりやすい構成や用語、表現で記述すること。

(2) 論文等の目的と成果、保全と管理の実務に貢献すると期待される内容、およびその根拠が明確で、かつできる限り簡潔な文章であること。

3) 図表の書き方

(1) 図表は本文中に入れずにそれぞれ別紙に作成する。図表の挿入箇所は、本文中に専用の行を設けて記す。写真を図版として掲載する場合には、印刷面のサイズ（17 × 24 cm 以内）に合うようにレイアウトする。

(2) 各図表・写真等の説明文（キャプション）は別紙にまとめ、本文の後につける。説明は和文で記述し、本文の説明がなくても分かるように詳細に記述する。

(3) 著者以外が作成した図表・写真等を転載する場合は、著者の責任において投稿前に著作権者の許可を受けること。